

第4回Jヴィレッジ復興プロジェクト委員会



+



平成28年2月19日

(1) 「新生Jヴィレッジ」復興・再整備計画（中間報告）について

①これまでの経過

「新生Jヴィレッジ」復興・再整備計画（H27.1.29策定）の概要

新生Jヴィレッジの使命

- 1 本県復興の姿を国内外に発信
- 2 双葉地域の復興再生を牽引
- 3 サッカー・スポーツ振興に貢献
- 4 未来を担うトップアスリート育成
- 5 地域コミュニティの中核と健康づくりに貢献

新生Jヴィレッジの目標

- 1 2020年オリンピック・パラリンピック前年の2019年4月までに世界に誇るナショナルトレーニングセンターとして再生、**2018年夏までに一部営業の再開**を目指す
- 2 **世界トップクラスの施設**とサービスを提供し、**持続可能な経営**を実現
- 3 2020年には、利用者数を震災前の水準以上に戻すことを目指す

5つのチャレンジ

- 1 新たな付加価値の創造
 - ・ **全天候型サッカー練習場の新設**
 - ・ 最適な天然芝の導入
 - ・ **宿泊施設等の増築**
 - ・ レストラン収容能力の拡大、魅力の向上
 - ・ ラグビー競技等でも利用可能な施設の整備
- 2 NTC機能の強化
 - ・ トレーニングの質を高める機器の導入
 - ・ スポーツメディカル・リハビリ機能の整備
- 3 トップアスリートの育成
 - ・ JFAアカデミー福島の支援強化
 - ・ 「ふたば未来学園高校」と連携した人材育成
- 4 地域との連携強化
 - ・ イベント等を通じた地域活性化への貢献
 - ・ 地域の観光業や農林水産業との連携強化
- 5 **東京五輪前に再開**

経過

H27.1.29
第3回プロジェクト委員会 開催
(再整備計画策定)

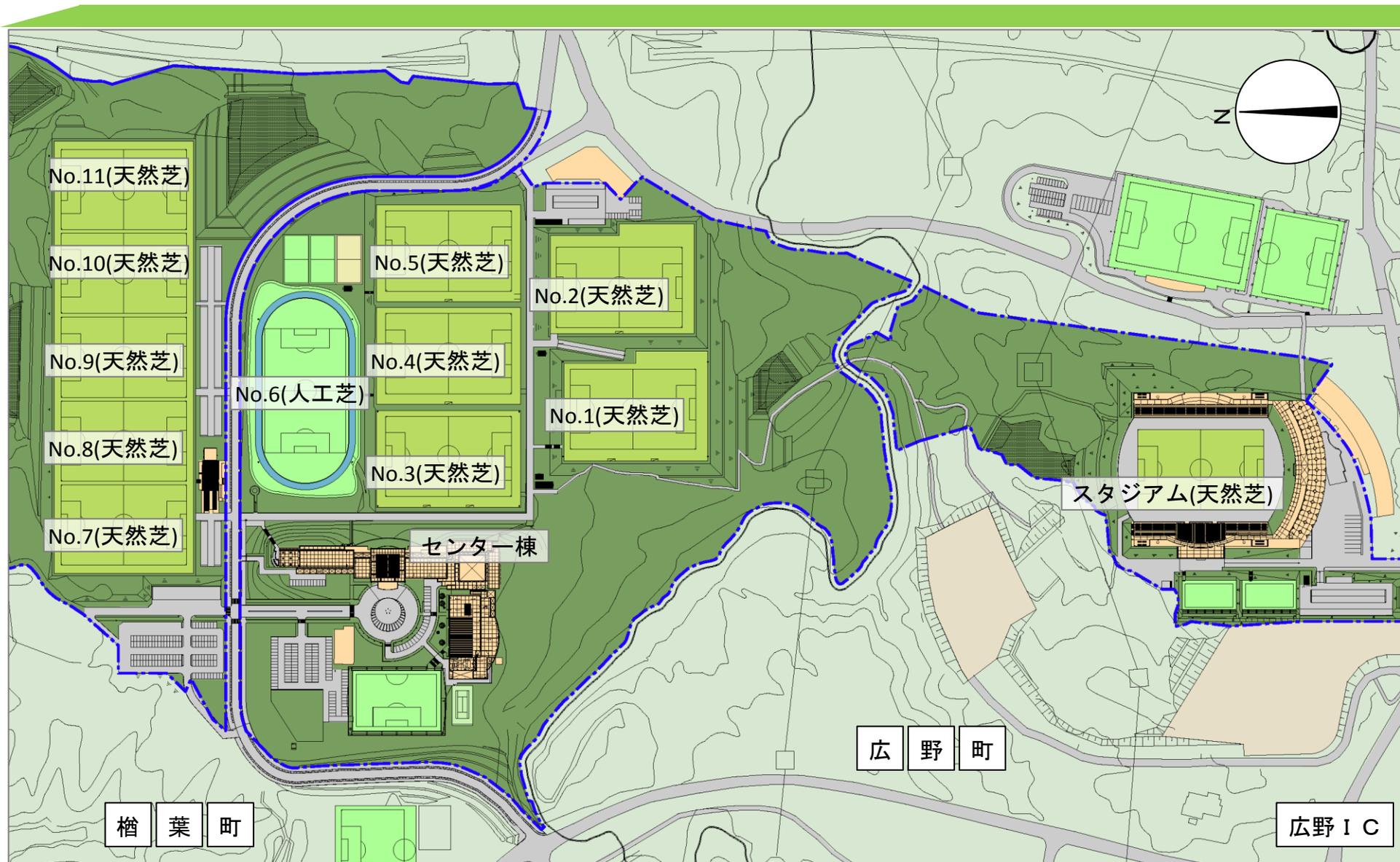
H27.9.17
基本設計業務委託プロポーザル公募開始

H27.11.17
基本設計業務委託契約締結
(株式会社梓設計)



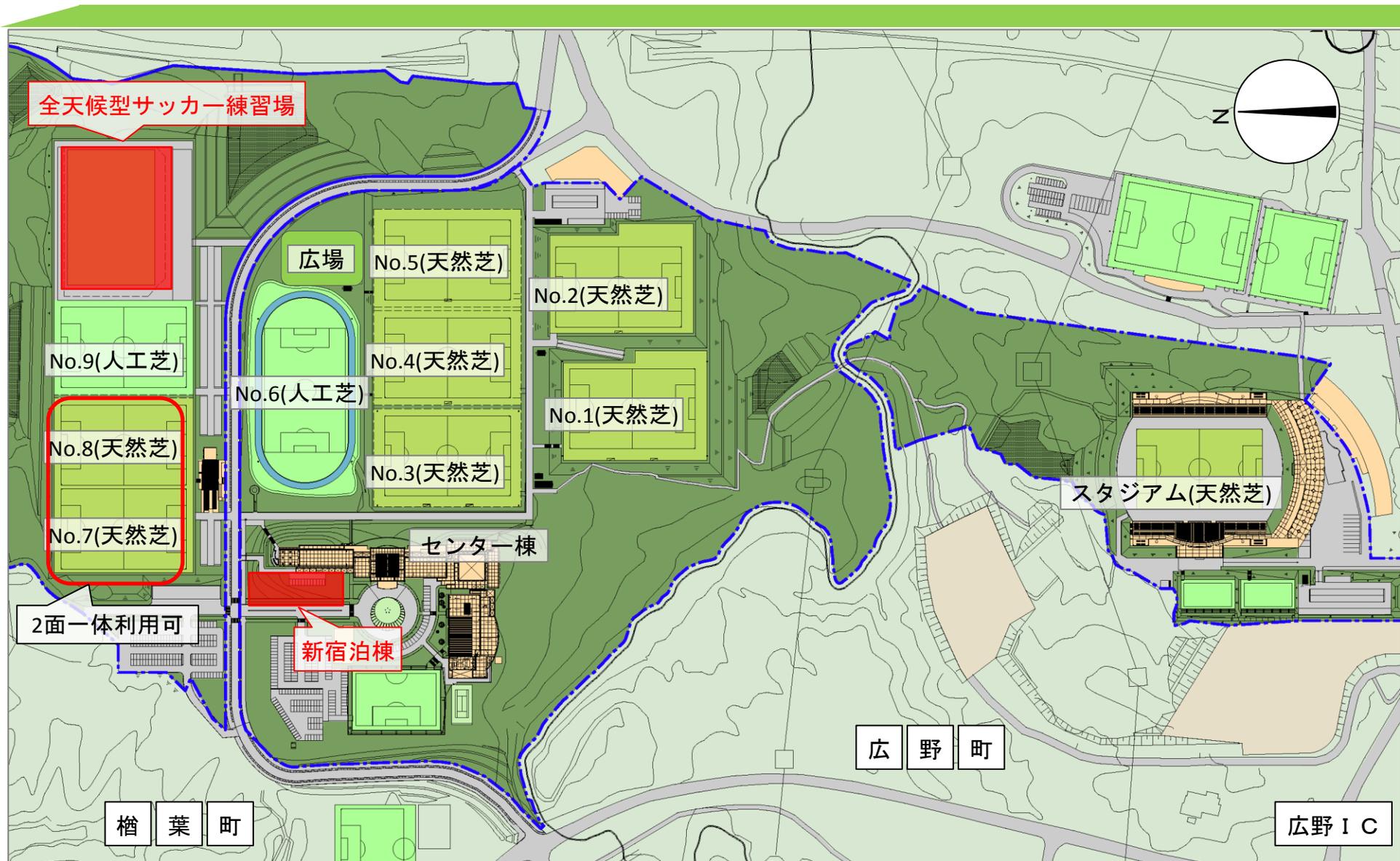
(1) 「新生」ヴィレッジ」復興・再整備計画（中間報告）について

②再整備の全体像（震災前レイアウト）



(1) 「新生」ヴィレッジ」復興・再整備計画（中間報告）について

②再整備の全体像（再整備後のレイアウト）



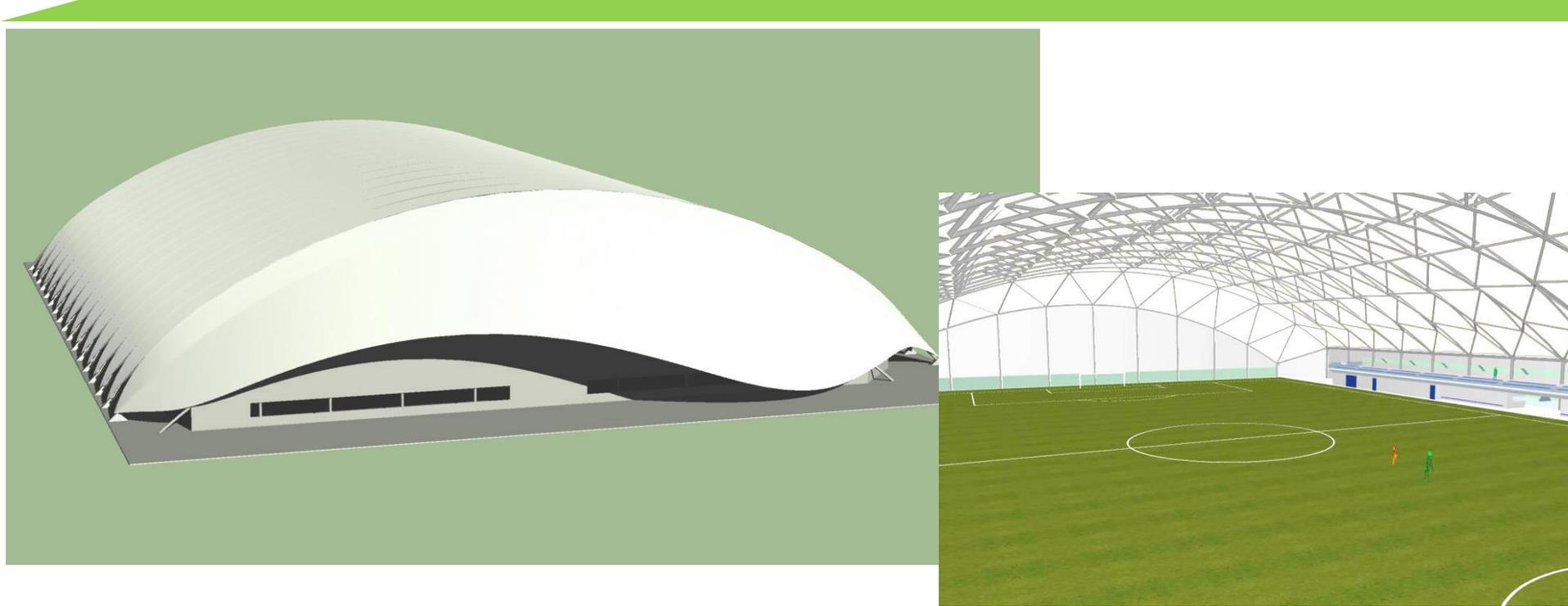
(1) 「新生Jヴィレッジ」復興・再整備計画（中間報告）について

②再整備の全体像（全体イメージ図）



(1) 「新生Jヴィレッジ」復興・再整備計画（中間報告）について

③全天候型サッカー練習場の概要

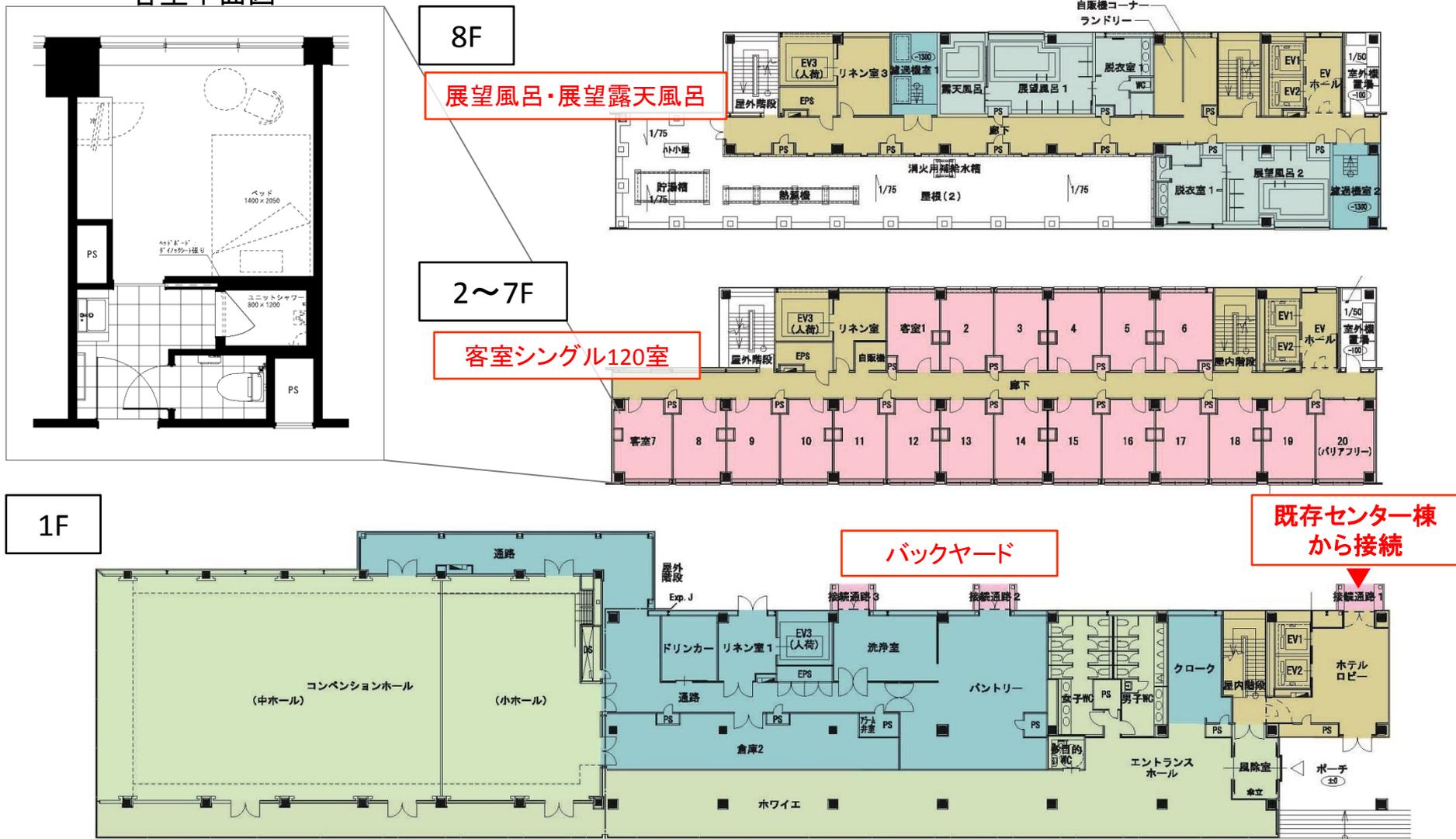


- 1 サッカー、ラグビーともに使用可能な人工芝グラウンド1面規模の屋内運動場
- 2 季節、天候にかかわらず、年間を通して質の高いトレーニング環境を提供する全天候型運動場
- 3 約1万㎡、屋内高さ約20m（中央部）、日光の入る膜屋根、観覧スペース250席程度

(1) 「新生」ヴィレッジ」復興・再整備計画（中間報告）について

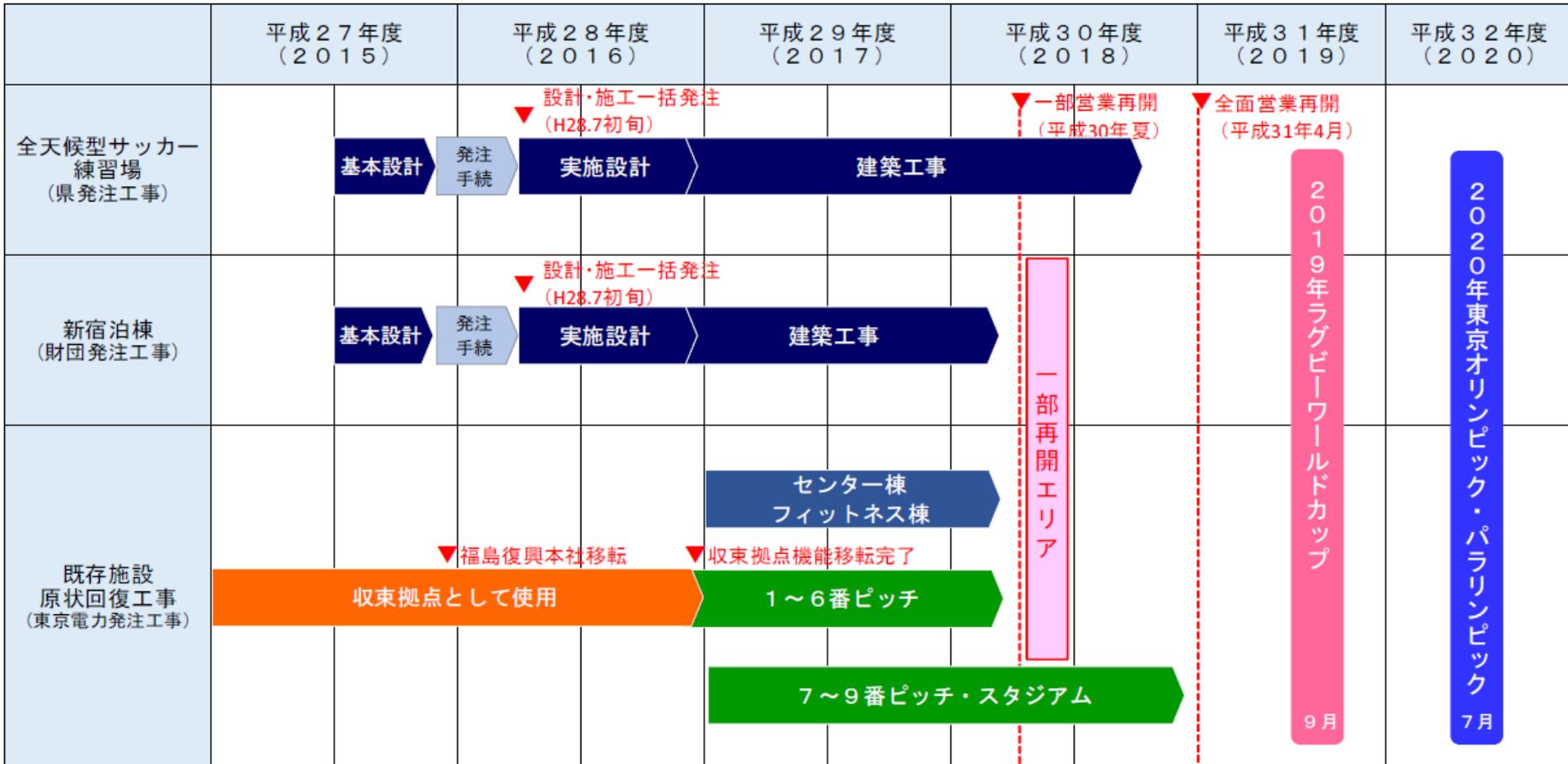
④ 新宿泊棟の概要

客室平面図



(1) 「新生Jヴィレッジ」復興・再整備計画（中間報告）について

⑤整備スケジュール



(1) 「新生Jヴィレッジ」復興・再整備計画（中間報告）について

⑤再整備スケジュール（一部営業再開エリア）



(2) Jヴィレッジ復興・再整備事業の進め方について

①発注方法及び発注スケジュール

発注方法

- 全天候型サッカー練習場…県有施設として県発注（総工費：28億円）
- 新宿泊棟…一般財団法人福島県電源地域振興財団が発注（総工費：22億円）
- それぞれ、**設計・施工一括発注方式（DB方式）、公募型プロポーザル**により発注

<設計・施工一括発注方式のメリット>

- ①円滑な工事の実施（実施設計と並行して人材や資材等の手配を行えるため、適正な工事費の確保と工事の遅延防止が図られる。）
- ②工事の品質確保（施工者の固有技術を生かした合理的な設計が図られる。）

発注スケジュール(予定)

○全天候型サッカー練習場

- | | |
|----------|----------------------------------------|
| H28.3.14 | プロポーザル公募開始 （福島県エネルギー課ホームページに掲載） |
| H28.5中旬 | 技術提案書提出期限 |
| H28.5下旬 | 審査委員会（ヒアリング）実施、契約候補者の選定 |
| H28.6初旬 | 仮契約 |
| H28.7初旬 | 本契約（6月県議会での議決） |

○新宿泊棟

- | | |
|----------|----------------------------------------|
| H28.3.22 | プロポーザル公募開始 （福島県エネルギー課ホームページに掲載） |
| H28.5下旬 | 技術提案書提出期限 |
| H28.6中旬 | 審査委員会（ヒアリング）実施、契約候補者の選定 |
| H28.7初旬 | 契約 |

(2) Jヴィレッジ復興・再整備事業の進め方について

② Jヴィレッジ復興サポーター事業

Jヴィレッジ復興サポーター

○ J F A 大仁会長、田嶋副会長、なでしこ佐々木監督（27.7.22委嘱）に加え、Jヴィレッジゆかりの選手など著名人を「Jヴィレッジ復興サポーター」に委嘱。



＜Jヴィレッジ復興サポーターの役割＞

- ① Jヴィレッジの復興に対する支援の輪を国内外に広める活動
- ② Jヴィレッジの再整備に関する技術面でのアドバイス
- ③ Jヴィレッジ再開後の積極的な利活用推進

活動

○ 企業・団体・個人からの支援

- ① Jヴィレッジ再開後の利用促進
- ② Jヴィレッジ復興・再整備への支援（寄付金）

